

京王第024号
令和5年4月20日

運輸審議会
会長 堀川 義弘 殿

東京都新宿区新宿三丁目1番24号
京王電鉄株式会社
代表取締役社長 社長執行
都村 智

公述申込書

運輸審議会一般規則第35条の規定により、下記のとおり公述申込みを致します。

記

1. 事案番号

令5第4003号

2. 事案の種類

鉄道の旅客運賃の上限変更認可

3. 事案の申請者

京王電鉄株式会社

4. 公述しようとする者の氏名、住所、職業及び年齢

東京都新宿区新宿三丁目1番24号

京王電鉄株式会社

代表取締役社長	社長執行役員	都村 智史	58歳	
取締役	常務執行役員	井上 晋一	56歳	
執行役員	鉄道事業本部	加藤 慎司	54歳	
鉄道事業本部	計画管理部	企画管理担当課長	国本 真輝	41歳

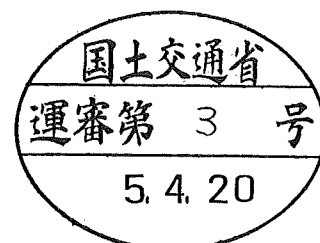
5. 事案に対する賛否

申請者

6. 連絡先

京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 計画管理部 電話

以上



鉄道の旅客運賃の上限変更の認可に係る

公 述 書

公 述 人 京王電鉄株式会社

代表取締役社長 社長執行役員 都村 智史
他

■はじめに

私は、京王電鉄株式会社、代表取締役社長 社長執行役員の都村智史でございます。

本日は、弊社が令和5年3月24日に申請いたしました、鉄道の旅客運賃の上限変更の認可申請に関しまして公聴会を開催いただき、弊社の申請の趣旨や経営の実情をご聴取いただけますことに厚く御礼を申し上げます。

ただいまから、

第1に、鉄道事業の概要とこれまでの取組みについて

第2に、今後の取組みについて

第3に、経営合理化への取組みと収支状況について

第4に、申請理由および旅客運賃の内容について

の順にご説明申し上げます。

1. 鉄道事業の概要とこれまでの取組みについて

弊社の鉄道事業は、新宿駅を起点とする京王線と渋谷駅を起点とする井の頭線からなり、東京都西部を中心に神奈川県北部にもまたがる84.7km、69駅の路線を有している他、京王線新宿駅では都営新宿線と相互直通運転を行っております。多摩ニュータウンを沿線に抱える弊社路線は通勤通学路線という性格が強い一方、世界屈指の登山客数を誇る「高尾山」や「味の素スタジアム」といった行楽地輸送にも重要な役割を果たすなど、首都圏交通の大動脈の一翼を担っております。

弊社はこれまで、京王グループ理念である『信頼のトップブランド』の確立を目指し、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めてまいりました。鉄道事業においては、お客様や沿線にお住まいの方に信頼され、愛される鉄道になるため、「安全は最大の使命であり、最高のサービスである」との基本方針のもと、過去17年で単年平均253億円の投資を行い、「安全性の向上」や「サービスの向上」などに取り組んでまいりました。

安全性の向上については、線路と道路の立体交差化による踏切の廃止やATC（自動列車制御装置）の導入、ホームドアや踏切障害物検知装置の整備といった各種安全対策の実施、また耐震補強工事をはじめとする自然災害対策や災害発生時の対処能力強化を目的とした訓練などを実施しております。加えて、令和3年に発生した京王線車内傷害事件や令和4年に発

生じた京王八王子駅危険物所持者侵入事件を受けた駅構内・車内の防犯対策として、リアルタイム伝送機能を持つ防犯カメラの整備やライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」を活用した非常時の情報連絡体制強化、駅構内の巡回強化や列車内の係員・警備員による警戒添乗、警察と合同での非常事態を想定した訓練の実施など、ハード・ソフト両面から様々な対策を実施しております。

サービス向上については、お客様の着席ニーズにお応えすることを目的に、平成30年2月から有料座席指定列車「京王ライナー」の運行を開始いたしました。運行開始以降、列車の増発や停車駅の拡大などサービスの拡充を進めております。加えて令和4年度に増備した5000系車両1編成においては、日本初となるリクライニング機能付きロング/クロス転換座席を搭載するなど、車内の快適性向上にも努めております。また、バリアフリー施策にも積極的に取り組んでおり、平成24年にはバリアフリールート¹の全駅整備を達成、2ルート目の整備も複数駅で実施しております。バリアフリートイレは整備が必要な全駅に設置し、車内の車いす・ベビーカースペースは全編成に設置しています。加えて、「サービス介助士」の資格を駅係員・乗務員の全員が取得済みであるなど、お客様のご案内や接遇スキル向上にも努めております。

環境対策については、カーボンニュートラル実現に向けた各種取組みを実施しております。走行用電力の削減については、消費電力を約45%削減できるVVVFインバータ制御装置を平成4年より導入し、平成24年に全営業車両のVVVFインバータ制御化を大手民鉄で初めて完了しました。平成27年からは消費電力を最大68%削減できる省エネ型VVVFインバータ制御装置への更新を進めております。加えて、駅舎補助電源装置の導入など、環境に優しい乗り物である鉄道の強みを高める取組みを実施しております。その他、照明設備のLED化や地下駅空調設備の運用改善などの省エネ施策を実施しており、特に地下駅空調設備の運用改善は、駅の安全性を確保しつつ多額の投資をかけずに改善に結びつけた点が高く評価され、令和3年度省エネ大賞の省エネ事例部門・輸送分野において、最高賞の経済産業大臣賞を受賞しました。

2. 今後の取組みについて

今後の取組みについては、弊社が目指す「日本一安全でサービスの良い鉄道」の実現に向け、「より高度な安全・安心の追求」、「お客様ニーズを先取りしたサービスの提供」、「さらなる社会貢献を通じた地域・社会

との共生」、「未来を見据えた盤石な事業運営体制の構築」これら4つの柱のもと、令和3年に発生した車内傷害事件を受けた防犯対策、ホームドアなどのバリアフリー設備の整備など各種施策を実施、加速化させてまいります。

「より高度な安全・安心の追求」においては、あらゆるお客様に安全・安心に鉄道をご利用いただけるよう、笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業、弊社全駅におけるホームドアの整備、ホームと車両床面の段差・隙間解消を進めるほか、鉄道テロ対策のための非貫通車両の解消やホーム上・車内防犯カメラの全駅・全車両整備、全踏切への踏切障害物検知装置の整備や激甚化する自然災害への対策、施設の老朽化への対応などを着実に進めてまいります。加えて、異常が発生した際に迅速かつ的確に対処できるよう、自然災害による脱線事故対応等を想定した「総合事故復旧訓練」や警察と合同での「車内暴漢対処訓練」を継続的に実施する他、過去の鉄道事故などを教材として設置した安全啓発室での教育や安全講演会の開催などを通じ、安全意識の高い鉄道係員の育成を行ってまいります。「日本一安全でサービスの良い鉄道」の実現に向けて、引き続きお客様目線での安全施策を本社・現場が一体となって推進してまいります。

「お客様ニーズを先取りしたサービスの提供」においては、年齢、性別、国籍、家族構成などの違いに関わらず、すべてのお客様がより安心・快適・便利に鉄道をご利用いただけるよう、新宿などのターミナル駅における大規模駅改良や最新型5000系車両の増備と座席指定列車のさらなる拡充、駅や車両のバリアフリー化、旅客トイレのリニューアル、鉄道のご利用に応じたポイントサービスの導入や各種企画乗車券の造成などの施策を実施してまいります。加えて、お客様案内ディスプレイの全駅多言語化や、クレジットカード決済などによる新たな乗車券システムの導入検討など、沿線の方々だけでなく、訪日外国人など沿線への来街者にも当社線をより便利にご利用いただける施策を実施します。その他、業界初の取組みとして現在スタートアップ企業と協力して実施している、AIによる自動照合技術を活用した忘れ物取扱業務のDX化など、先進的な取組みをさらに推進・拡大することで、お客様の利便性のさらなる向上に努め「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めてまいります。

「さらなる社会貢献を通じた地域・社会との共生」においては、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、車両における省エネ型VVVFインバータ制御装置への更新や回生電力の有効活用、省エネ運転をサポートするシステムの導入など環境にやさしい乗り物である鉄道の強みを

高める取組みや、照明設備のLED化などの省エネ施策、再生エネルギーの活用などの検討を進めてまいります。地域社会への貢献・沿線活性化の取組みについては、高尾山エリアなどへの旅客誘致策を引き続き実施・強化する他、オープンイノベーションを活用したエリアの魅力向上や沿線のスポーツ団体、商店会、企業など地域やパートナーと連携した沿線活性化策・移動需要創出施策の推進にも取り組んでまいります。

「未来を見据えた盤石な事業運営体制の構築」においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収入減や急速に進行している少子高齢化に伴う労働力不足への備えとして、鉄道事業の運営体制の抜本的な見直しを進めております。AI・IoTを活用した駅業務の高度化やワンマン運転などによる組織・要員体制の見直し、点検記録等を地図上で可視化するGISプラットフォームを用いた土木構築物のデータベース化や、老朽化や異常検知といった設備の状態を予知してメンテナンスを行うCBMの導入など、DX化や新技術の活用などによる施設の維持管理・保守保全の効率化などの実現に向けた検討を進め、安全性を担保しつつ固定費の大きい鉄道のコスト削減・業務省力化を進めてまいります。また、将来にわたって高レベルの安全・安心・快適な鉄道サービスを提供し続けられるよう、想定外の事象に対応するための訓練の実施やオンライン学習システムを活用した教育体制の推進など、鉄道係員への教育・訓練の拡充を図ってまいります。また、労働力不足が懸念される中でも優秀な人材を安定的に確保できるよう、採用の強化に加え、働き方改革の推進や定年延長の実施、職場環境の改善などによる社員のモチベーション・エンゲージメント向上に努めてまいります。

3. 経営合理化への取組みと収支状況について

京王グループ理念である『信頼のトップブランド』の確立を目指し、「安全性の向上」や「サービスの向上」にこれまで積極的に取り組んできた結果、鉄道施設の維持管理費用は前回の値上げ運賃改定時の平成7年度と比較し、3割以上増加しております。一方で、弊社はかねてから経営の合理化・効率化やコスト削減に積極的に取り組んでおり、本社部門における業務の棚卸・組織統合などによる効率化、現業部門における駅窓口案内システムの導入にあわせた一部改札口の遠隔運営、競馬場線や動物園線のワンマン運転などを適宜実施しております。これらの取組みにより、平成7年の値上げ運賃改定時と比較し、従業員数・人件費は約2割削減、従業員一人当たりの車両走行キロで測った生産性は約1.5倍となっており、効率的な事業運営体制を構築しております。

このような経営合理化の結果、弊社は消費税率変更によるものを除き平成7年以降約28年間にわたり現行運賃を維持してまいりました。加えて、平成9年には運賃値下げを、平成30年と令和元年には相模原線の一部に設定している加算運賃の引き下げを実施するなど、長年にわたって業界最安水準の運賃を維持してまいりました。

しかしながら、弊社における新型コロナウイルス感染症の流行による利用者の減少は深刻であり、令和2年度、令和3年度の2ヵ年ともに、コロナ禍以前の平成30年度に対する輸送人員の減少率は関東大手民鉄8社で最大となっております。安全を支障しない範囲での更新工事の先送りや更新周期の見直し、修繕費など保守費の削減、役員および管理職の給与削減や従業員の手当、賞与の削減、各職場の要員体制の見直しなど、聖域なき費用削減を実施致しましたが、鉄道事業単体で令和2年度、3年度と2期連続赤字となっております。輸送人員の回復や継続的な費用削減により、令和4年度は黒字となる見込みですが、今後は人材確保と育成に向けた処遇改善なども必要であり、現行の費用削減を継続しつつ、公共交通機関としての役割を維持していくことには限界があります。加えて、テレワークなどの新しい生活様式の浸透や企業・経済活動などの変容、中長期的な沿線人口の減少などにより、今後の輸送人員はコロナ禍以前の水準までは戻らないと想定されるなど、弊社の鉄道事業は極めて厳しい経営状況にあります。

4. 申請理由および旅客運賃の内容について

このような状況下においても、今後も公共交通事業者として揺るぎない安全・安心をお客様に提供し続けていくためには、増加する老朽設備の更新や令和3年に発生した京王線車内傷害事件を受けた防犯・セキュリティ対策、大規模自然災害への対策、連立事業などの大規模工事の推進などの各施策の継続・推進が不可欠です。さらにホームドアなどのバリアフリー設備のさらなる整備加速やカーボンニュートラルの実現など、多様化・複雑化する社会的要請に対応していく必要もあり、これらを実現するためにはコロナ禍以前の水準を超える年間300億円規模の設備投資の継続的な実施が必要です。経営合理化のため、鉄道事業の運営体制の抜本的な見直しをはじめとする様々な取組みを徹底してまいりますが、現行運賃を前提に今後の収支を推計いたしますと、令和6年度から8年度の平年度合計で約290億円の収入不足が想定される危機的な状況にございます。このような大変厳しい事業環境下において、安全・防犯対策をはじめとする各種設備投資、維持のためのコストを弊社の経営努力のみによって賄うことは非常に困難であると判断し、約28年ぶりの運賃値上げ改定を申請させて

いただきました。

申請の内容につきまして、平均改定率は13.3%、実施予定時期は令和5年10月で申請させていただきました。

普通旅客運賃について、お客様のご負担を極力軽減しご理解をいただきやすい値上げ額とすることを目指しました。初乗り運賃は10円程度の値上げに抑え、1円単位運賃で126円から140円、10円単位運賃で130円から140円といたします。その他の区間につきましても改定額を極力抑え、最大で42円の値上げといたします。

定期旅客運賃について、通勤定期運賃は普通旅客運賃に合わせた値上げといたしますが、通学定期運賃は家計負担に配慮し、据え置きといたします。なお、定期旅客運賃の割引率は、通勤定期は現行と変わらず37.6%、通学定期は運賃据え置きにより2.7ポイント増加し、80.1%となっております。

なお、改定にあたってのお客様の負担を極力抑えるべく、運賃改定実施にあわせ、相模原線の一部に設定している加算運賃を廃止する他、鉄道のご利用に応じたポイント付与サービスの導入やこれにあわせた子育て世代応援策の実施など、新たなお客様還元施策も行ってまいります。

■ むすび

最後となりますが、今年で京王線開業110周年、井の頭線開業90周年を迎えます。弊社はこれまで沿線の魅力的な街づくりにチャレンジし、人々の暮らしを支え続けてまいりました。これからも、時代の変化にきめ細やかに対応しながら多様化するライフスタイルを牽引するとともに、環境に配慮した活動を推進し、地域やパートナーとともに持続可能な社会の実現に貢献してまいります。そして、創業以来培ってきた「安心」「安全」「信頼」という価値観を大切に、弊社が目指す「日本一安全でサービスの良い鉄道」の実現に向け、安全性・サービスの更なる向上を図り、地域社会にとってなくてはならない公共インフラとして、今後もあらゆるお客様が安全・安心・快適にご利用いただける鉄道サービスを提供し続けることで、公共交通事業者としての責任を果たし続けてまいります。

以上、申し述べました弊社の置かれている実情をご賢察賜り、何卒、今回の旅客運賃の改定を実施させていただけますようご審議賜りますことを切にお願い申し上げまして、私の公述を終わらせていただきます。ありがとうございました。